

### ①白鶴美術館



白鶴酒造 7 代目嘉納治兵衛（鶴翁）が収集古美術公開の為、1934 年(昭和 9)開館。青銅器・陶磁器は世界に誇る。

### ②徳本寺



本尊は阿弥陀如来。1798 年(寛政 10) 徳本上人は念仏を唱えると極楽往生できると説いた。1917 年(大正 6)建立。

### ③柿の木地蔵



江戸時代の末に、切り出した石や水車場からの米を運んだ車が行き来した道に、安全を祈って建てられた。

### ④水車モニュメント



江戸時代中期以降、水車を利用して有力な産油地となる。精米にも利用され灘の酒の質が向上、素麺業も栄えた。

### ⑤文禄 3 年の石仏



石垣に埋め込まれた 6 地蔵の左端地蔵に文禄三年二月吉日と銘が刻まれている。区内最古の在銘遺品である。

### ⑥庚申塚



古来、中国思想の影響を受け 60 日に一度回ってくる庚申の日に夜を寝ずに過ごす信仰。1625 年(寛永 2)に建立。

### ⑦住吉学園（流石の碑）



1938 年(昭和 13)阪神間を襲った大水害。3 日間の雨量 461 mm。流れてきた巨石を利用、碑の高さは実際の泥水高さ。

### ⑧「右も左も有馬道」の道標石



ここで有馬道が分かれているが、どちらを通っても白鶴美術館付近で合流しており親切な道標。

### ⑨阿弥陀寺



浄土宗で本尊は阿弥陀如来。1637 年(寛永 14)に天誉上人が開基した。明治最初の村役場は境内にあった。

### ⑩本住吉神社



祭神は表筒男命・中筒男命・底筒男命・神功皇后。大阪の住吉神社はここから分家したものと言われていた。

### ⑪有馬道の碑



1874 年(明治 7) 鉄道開通、住吉駅ができ魚屋道に代り住吉越えの有馬道を通るようになり道標を設置した。

### ⑫住吉ステーションギャラリー



JR 住吉駅南側自転車置き場に、昔の駅名表示板と線路側壁面には昔の写真パネルが 5 枚ある。

### ⑬ハニワの広場



JR 住吉駅周辺では弥生時代～近世の複合遺跡が 1985 年(昭和 60)に出土した。出土したハニワ展示と説明パネル。

### ⑭水車の広場



住吉川水系には大正初期に約 80 箇所の水車場に約 1 万個の石臼があった。水車の盛衰に関する展示・説明。

### ⑮だんじり資料館



住吉の伝統文化である、だんじりの普及・振興と、地域住民がコミュニティーの輪を広げる事を目的に設置。

### ⑯住吉川清流の道



埋め立ての為、山の土砂を運ぶダンプ用道路を兩岸に築き、工事完了後遊歩道として区民に解放された。

### ⑰倚松庵



東灘から芦屋に数ある谷崎潤一郎旧邸の一つ。現在の位置の 150m 南にあったが 1990 年(平成 2)この地に移築。

### ⑱村界の碑



古くから住吉川の西側は上流住吉村と下流魚崎村の境界争いが続いていた。1910 年(明治 43)和解が成立。

### ⑲五百崎橋



神功皇后朝鮮遠征時、軍船を集めると五百艘集まり五百崎と呼ばれ、後に魚崎となる。橋の名前として残る。

発行：令和 2 年 3 月  
東灘ボランティアガイドの会

監修：道谷 卓  
(神戸深江生活文化史料館)

編集者：田富正大 子川幹男  
西村良子 俵 美子  
植田雅代 原 美知江  
鷲尾二郎 宇都紘一

引用：田辺真人「東灘歴史散歩・平成 4 年」

このマップは令和元年東灘コミコミ活動により作成